

福祉が原点

長年、福祉の現場で働いてきました。障がいがあってもなくても、障がいが高くても軽くても、どんな人も誰かに支えられて生きています。自分で声を上げられない人がいるなら、住民のなかに入って、声なき声を聞き、困っている人の悩みをすぐに解消したい。すべての人が大切にされる社会をつくりていきたいと考えています。

清水とし子さんから

みなさんとりくんできた住民本位のまちづくり、人間尊重の市政実現を、わたなべ三枝さんに託しています。

私もともにがんばります。

清水とし子 東京都議



日本共産党 日野市議会議員

わたなべ三枝

みつえ

すべての人が大切にされ
支えあう社会を

4月の補選で市政に送っていただいてからまだ9カ月。でも、議員になってわかってきたことがあります。市政のゆがみが、ほんとうに深刻です。ボロボロの生活道路の補修予算は年500万円しかないのに、元副市長がらみの汚職・腐敗では何億円もお金私物化されました。市民の怒りは広がっています。私は、汚職・腐敗の全容を解明して、市民の税金を市民のために使う、誰にも優しい市政を実現するために全力でがんばります。

わたなべ 三枝のお約束

- ☑ ボロボロになった生活道路の改修を早め、高齢者や障がい者にやさしい街づくりをすすめます
- ☑ 横田基地からオスプレイの撤去を要求し、静かな夜をとります
- ☑ 介護や保育などケア労働者の賃金を引き上げ、待遇の改善をすすめます
- ☑ 旭が丘巡回バスの増便をすすめます



friend.mitsue@gmail.com

わたなべ 三枝プロフィール

1958年福島県生まれ。紡績工場で働きながら短大で学び保育士の資格取得。都立七生福祉園などに35年間勤務。
1981年日本共産党に入党、地域支部の支部長を経て2021年市議補選で当選。清水とし子都議からバトンをうけて市議活動9カ月。

わたなべ 三枝の活動地域

日野台、多摩平、旭ヶ丘、富士町



市長に補聴器助成等を要請
(12月28日)



わたなべ三枝さんがいる
「日本共産党」について

みなさんはSNSで「#困ったときには共産党」という言葉を見かけたことがありますか？これは生活苦やトラブル等で困った際に、日本共産党の人に相談をすると支援や解決へ繋げてくれたという話がネット上で広がり、コロナ禍以降、特に拡散されるようになったものです。

その言葉通り、日本共産党は「国民の苦難軽減」を立党の精神として国会や都議会、また、わたなべ三枝さんのように各市区町村議会あるいは草の根で、毎日頑張っています。

今年はなんと党創立100周年。戦前から一貫して平和と民主主義を訴え、世の中の不平等を無くし、だれもが自由に生きられる社会を実現するため、今も努力を続けています。

日野市でも、現在5名の党市議員が、市政の不正追及をはじめ、国保料の値上げ阻止やコミュニティバス等公共交通の充実など、地域のみなさまの切実な願いを議会へ届け、実現するために全力をあげています。

今後もより暮らしやすい日野市をつつていくために、日本共産党の5人が絶対に必要です。どうぞお力をお貸しください。

そしてもしお困りごとがありましたら、いつでも日本共産党へご相談ください。



(左から) 大高哲史、ちかざわ美樹、わたなべ三枝、岡田じゅん子、中野あきとの日野市議員

子供の虐待で初質問 市長が「感謝する」と答弁

6月の初質問で、わたなべ三枝市議は、子どもたちの虐待について質問をしました。

日野市の実態はどうなっているか

担当者

コロナ禍で児童虐待の件数は増加している

必要な専門員の増員と処遇の改善を図るべきだ

ゼロ歳児の一時保育、相談窓口も広げるべきだ

担当者

育児の孤立化を防ぎ、安心して子育てできる環境づくりに努めたい

市長

これだけ網羅的に虐待に関する質問を受けたことはなかった。感謝する

誰もが住みよいまちを

▽ 豊田駅のホームドアを
豊田駅にホームドアを設置し、ホーム警備員の増員をはかるなど安全対策を強化させます。

▽ 認可保育園を増やす
マンションが増えて保育園が足りません。認可保育園を増やし、女性の経済的自立を応援します。

▽ コロナから命、くらしを守る
三回目のワクチン接種促進、検査、医療体制の充実・強化をはかり、コロナから命を守ります。痛めつけられた営業や暮らしを応援します。

生活道路は「道路舗装補修計画」の対象外 わたなべ市議の質問で市政の大問題に

日野市の生活道路予算は年500万円です。わたなべ市議は、生活道路が「道路舗装補修計画」の対象外になっていると指摘し、ボロボロになった生活道路の改修問題に大きく光を当てました。

生活道路の老朽化が進んでいる
すぐ補修してほしい

担当者

財政非常事態です

高齢の方、障がい者、ベビーカーも通る。事故が起きてからでは遅い

担当者

指摘された箇所は直しました

日野市はどこも生活道路がボロボロ
声を上げないと直らないのは困る

生活道路は「道路舗装補修計画」の
対象外になっている

担当者

補修の優先順位を決める路面性状調査の対象外路線となっている道路は327.8キロメートルある。



会津の雪深い田舎で生まれ育った私には、どうしても忘れられない光景があります。冬になると、母親たちが毎朝4時過ぎから4キロの雪道を歩いて踏み固め、道をつけ、歩いてみたのです。暮らして通れる道は日々の生活を支える土台です。私が暮らした頃の母たちの姿が、安全な暮らしを築くために必要だと感じました。

だれにも優しいまちを！
保育士として知的障がい者の施設で35年間働いてきました。子育てはひとりでは本当に難しく、だれかに見守られながら、支えられながら育てられる環境が必要です。お年を重ねたら一人で生きるのはやはり難しいです。また、障がいのある方はだれかの力を借りられただけで社会で自分を発揮できません。だれもがだれかの力を借りて生きてよいと思える社会をつくりたい。市民をしっかりと支える市政にしたい。その思いでやってまいりました。ぜひ、ご支援ください。

